

まちの話題 Izumiotsu Town Topics

泉大津で起こったさまざまできごとやイベントを、写真とともににお届けします。

say cheese!!



ひな祭りをお祝い！

3月3日、市内の各保育所ではひな祭りのお祝いが行われました。

戎保育所では、園児たちが先生手作りの衣装に身を包み、記念撮影を行いました。先生に着物を着せてもらい、男の子はお内裏様、女の子はおひな様になって2人1組で記念撮影。少しおすましした園児たちの顔がとても印象的でした。



真剣に取り組んでいました

2月23日、戎小学校で「いのちのリレー出前講座」が開かれました。これは、性や妊娠・出産の知識を子どもたちに正しく伝え、知つてもらうことで、いのちの尊さを理解してもらおうという取り組みで、市立病院の助産師が講師となって行われるものでした。この日は5年生を対象に、男女の違いや妊娠・出産について講義を受け、実際の赤ちゃんと同じ重さの人形を抱っこなどして、理解を深めています。

コラム・にんげん

人が人間らしく生きるために、すべて的人が等しく持っている権利、人権について考えるコラムです。

考え方・人権

最

ひと

貧困から

子どもたちを守れ

を通じて子どもたちの貧困についての報道がたくさん取りざたされている。たとえば、仕事を探している人や非正規で働く人、貧しい親の子どもほど受け入れることが難しいという保育園の園長の話。

就職をするための面接に着ていくスーツを買うお金がなかつた定時制高校の息子を持つ母子家庭の話。そして、収入が不安定な母親と二人で暮らす私立女子高校生は、生活が苦しくスーパーのレジのアルバイトもしているが、昨年、2万数千円の教科書代が払えず、代金を用意できるまでの2か月間、教科書なしで授業を受け、となりの友人に見せてもらつて学習したという。また、母子家庭

で生活保護を受けながら私立の高校へ通つた学生は、初年度の学費を支払えなくなつて、滞納が続き、自主退学という形で高校をやめざるをえなくなつたという話。こういった話は、数え上げれば世界2番目の経済大国といふ豊かさの実感はない。昨年10月20日厚労省が2007年度の日本の貧困率は15・7%であると初公表した。また、経済協力開発機構の2008年度の報告によれば日本のが貧困率は14・9%で加盟30か国中27番目という悪い値である。一人親家庭に限つてみると、貧困率は58・7%と最下位で、月収9・75万円以下の收入しかない。さらに、一人親家庭の87・6%（平成15年）が母子世帯である。

この現状では一人親の母親が働きながら子どもを育てていくのに非常な困難がともなうのではないか。将来を担う子どもたちにとって貧困問題は重い影を落とす。国も企業も一体となってこの問題の解決に向かう努力をする必要がある。安定した雇用、セーフティネットの拡充をはじめ、保育所の増設や就学援助の増額、授業料の減免や奨学金制度の充実、そして、国が保障すべき最低限の生活水準について、広く国民的な合意を目指していく必要がある。子どもたちは罪はない。一日も早く貧困から子どもたちを守るために手立てをうつことこそ、我々大人が今真剣に考えなければならぬ大きな問題である。

共同 きょうどうさんかく 参画

男女がともに自分らしく生きられるように…

「泣かされる息子」



「男の子は泣いたらだめ」

「他の子にやられたら必ずやり返しなさい」

私は母にこう言われ続け、その教えを忠実に実行して大きくなつた。そして、大人になった今、映画の感動的なシーンなど、泣きたい場面でも涙が出てこない自分の姿がある。私はもともと強い子ではなく、無理して母の教えを実行していたのだが、それが自分の心にしみついてしまつたのだろう。そんな私が今は親となり、2歳の息子がいる。児童館に行くと、子ども同士でおもちゃの取り合いになることが多いのだが、息子は決まって泣かされる側。それも、激しいやり取りをするわけでもなく無抵抗なまま泣いてしまうのだ。でも、そんな息子を見ても私は怒る気になれない。私のように無理をさせたくないからだ。息子はよく笑

い、よく泣き、自分より小さい子にはとても優しい。私は彼が、今の素直な気持ちを失わずにのびのびと成長し、優しい大人になってほしいと思っている。

これは、ドーンセンター開館10周年記念のとき、ジェンダーぶちエッセイを募集し優秀作品に選ばれた30代男性の作品です。幼いころ、「女の子だから、しとやかにしなさい」とか「男の子だから、泣いたらだめ」などと、だれもが一度は周りの大人から言われた経験があるのでないでしょうか。何気なく発する大人の言葉に、違和感を感じる子どももいます。泣き虫男の子だって、やんちゃな女の子だって大丈夫！

女・男という性別にとらわれることなく、自分らしくのびやかに生きることのできる社会になるといいですね。



上 條小5年生が取り組みを発表

2月20日に、「こども環境サミット」が、府教育センターで、府内7小学校と、5中学校が参加し開催されました。これは、府内の小中学校で、温暖化防止やエネルギー、リサイクルなどへの意識を高めるため2009年度から始まった「環境教育推進事業」の一環で、本市からは、昨年7月に校庭を全面芝生化した上條小学校5年生が代表として参加し、学校で取り組んでいる環境学習について発表しました。サミットの最後には、「学校発工コ宣言」と題し、子どもたちが自分たちで実践できる活動目標を披露しました。



市内の幼稚園で音楽会

市内各幼稚園では、2月を中心に音楽会が開かれました。戎幼稚園では、年少児はカスタネットや鈴でリズム打ち、年中児はいろいろな打楽器による演奏、年長児は有音程楽器を加え合奏に挑戦しました。特に歌では、子どもたちが歌詞を意識して心を込めて歌っていました。

音楽会を訪れた保護者らは、子どもたちが楽しそうに歌う姿に成長を感じ、目を潤させていました。



ア 泉大津駅東から300mにケヤキ植樹 ルザ通りがケヤキの並木道に

国からの経済対策臨時交付金をもって、市では泉大津駅東側交差点から約300mの区間にケヤキを植樹しました。ケヤキは、日本の代表的な広葉樹で若葉や紅葉が美しい樹木です。問合 みどり推進室（市役所2階）



子 第4回泉大津市こども将棋大会 ども棋士147人が熱い対局

2月14日、市民会館でこども将棋大会が開催され、市内の小学生ら147人が参加し、日本将棋連盟の坂口悟5段審判長のもと、熱戦を繰り広げました。はじめは緊張気味だった子どもたちでしたが、対戦が進むたびに、力強い一手を響かせていました。なお結果は、次のとおりです。（敬称略） ▷小学生の部 優勝…寺内悠貴（浜小5年）、準優勝…藤原直也（楠小5年）、3位…小池孝明（条東小5年）、国本純矢（戎小6年） ▷中学生の部 優勝…谷東衛（東陽中2年）、準優勝…中島和樹（小津中3年）、3位…寺田寛輝（誠風中2年）、渡邊大輝（東陽中1年）



マ 豪州友好都市ランナーが泉大津にやってきた ラソン大会で1位、3位と大活躍!!

本市の友好都市であるオーストラリアのグレータージローン市から、泉州国際市民マラソンに参加するため、男女2人のランナーが来日しました。2月21日の大会当日、スコット・ラントールさんは一般男子の部で見事1位、ジャドラー・コーリックさんは、一般女子の部で3位になり、2人とも素晴らしい結果を残しました。

2人は、マラソン大会に参加するほか、市内のホストファミリーのお宅に、それぞれホームステイしながら、日本の文化に触れ、19日には神谷市長を表敬訪問、22日には結果報告に再び市長を訪問し、親交を深めました。



犬 子育て講座「ドッグセラピー」開催 と触れ合いリラックス！

3月10日、市地域子育て支援センターでは、犬との触れ合いを通じ、心身を癒してもらおうと「ドッグセラピー」を勤労青少年ホームで開催しました。

当日参加した25組の親子たちは、2頭の愛らしいセラピー犬に大はしゃぎ。頭をなでるなどリラックスしたひとときを過ごしていました。



8 教育委員会追加表彰者決まる 人1団体が教育委員会追加表彰

3月2日、平成21年度教育委員会追加表彰が行われ、学校クラブ活動、社会教育および社会体育の場で功績のあった個人8人と1団体が表彰されました。表彰者は、次のとおりです。（敬称略） ▷学校クラブ活動功労者（個人）…山口雄貴、西浩輝、東日出海、稻垣諒、高橋延晃（以上東陽中陸上競技部）、山根七星（小津中） ▷学校クラブ活動功労者（団体）…東陽中陸上競技部男子駅伝チーム ▷社会教育功労者（個人）…木村浩之（公務員） ▷社会体育功労者（個人）…後迫龍輝（上條小）



自 若宮町商店街での火災時被害軽減に尽力 主防災組織の活躍に感謝状

2月15日、市では1月15日に若宮町の商店街で発生した火災に際し、いち早く駆け付け、付近住民の避難誘導や安否確認などに当たるなど被害の軽減に寄与したとして、旭町自治会防災部（田中代表）、KASUGA自主防災（川上代表）、菅原町自治会災害対策委員会（村田代表）、田中町防災委員会（長谷川代表）、若宮町自主防災組織（山野代表）の市内5防災組織に対して、感謝状を贈りました。



国 「田中家住宅」特別公開 の登録有形文化財を見学

2月11日、普段は一般公開されていない国の登録有形文化財、助松町の「田中家住宅」を、所有者のご協力により、特別公開しました。

当日は、雨まじりのあいにくの天気にも関わらず、多くの市民が参加し、江戸時代の本陣建築を熱心に見入っていました。